

前書き

初めまして。

この度は、この本を手にしていただきありがとうございます。

正道幹子（まさみちみきこ）と申します。

これは本名ですが、名前の字からして「悪いことできない、真面目で硬い人」を想像するかもしれませんね。実際は……その通りです……と言いたいところですがそれでもありません。

どんな人物像か、簡単に自己紹介しますね。

大阪で生まれ吉本新喜劇と共に育った根っからの関西人です。

常に「オチ」を求め、沈黙や深刻なことが苦手ととにかく楽しいこと、笑うことが大好きです。小さい頃は今から思うと結構、裕福な家庭で何不自由なく過ごしました。

「良妻賢母の鏡」のような母親に厳しく育てられ、遠くの私学小学校に通っていたこともあり、帰

宅後はいつもピアノを弾いていました。

音楽大学を卒業後は独身貴族を謳歌し、もうそろそろ結婚してもいいかな、と思った頃主人と出会い、すんなり結婚。

2年半後には年子で二人の娘を授かり、そこから波乱万丈の人生が始まるのです。

下の娘の先天的病気がわかり、病院通いと泣き叫ぶ子に毎日朝晩の投薬、年子の子育ては思い出したくないというより記憶がさっぱりありません。

そうこうしている最中、実母のガン発覚、宣告通り3カ月の入院後、57才の若さであっけなく逝ってしまいました。上の娘はアトピーでもあり、二人の乳飲み子を抱えて病院ハシゴの連続。

そして当時まで現役で働いていた実父の世話に、ペーパードライバーを返上し実家と病院を往復する日々。ただただ必死で「今後私は一生笑うことはないだろう」と思ったことだけは鮮明に覚えています。この頃が人生のどん底でしたね。

そこから新たなページが展開されていき、手術が必要かもと言われていた娘は奇跡的に快復！

祖母が孫娘に命を譲ってくれたと今でも信じています。

思うように人生が進まない苛立ち、どうしてこんなことが続くの……と全てを投げ出したくなる日もありました。泣き止まない二人の幼い娘と一緒に、訳もわからず涙が止まらなくなったことも。

しかし素晴らしい人との出会いや言葉の力で、少しずつ肩の力が抜け、さまざまな気付きを得て本来の自分らしく楽に生きられるようになってきたのです。

もしかすると私の命も3カ月後には消えてしまうのかも……そんな思いと生来の好奇心旺盛の性格から「今を大切に生きよう！ やりたいことはどんどん挑戦！」に切り替わっていったのです。一生笑わないはずの私が、今では毎日大笑いし、楽しく悔いなく生きています。

自分の心の持ち方一つで、どのようにも生きられます。

紆余曲折があり今やつと晴れやかな気持ちで毎日を送れるようになったのは、今までお世話になった多くの方々のお蔭で感謝の念に溢れます！

そんな私の人生を知り、ご縁を頂いた皆様に何かしらお役に立てることができれば幸せです。充分に愛され大切に育ててもらいましたが、もつともつと欲しかった母の愛や言葉。

もし必要としている人があるなら、私でよろしければ「母の愛とカツ」を差し上げたいの想いから、この本を書くことに決めました。

恩返しでなく「恩送り」し、命と共に心の豊かさを次世代に引き継いでいきたいです。

私の人生を鑑定で振り返ると、正にその通りの起伏の展開をしていたことにはびっくりでした。生きていくうえで知っておくと楽になることや、ちょっとした心のとらえ方のポイントをお知らせします。

「あかん・いかんはおかんが解決！」お観音コンサルタントは今日も求められているところへ飛んでいきます。それが私のミッション（使命）です。

若い皆さんが毎日を自分らしくイキイキと輝いて、命のバトンをつないでいってほしい！

そんなお観音のメッセージをお読みいただければ幸いです。